

2022年度（第20回）
建築・住宅技術アイデアコンペ
（募集要項）V2

2022年10月3日
建築研究開発コンソーシアム
インキュベーション委員会

1. 趣旨・目的

「建築・住宅技術アイデアコンペ」は、建築・住宅技術に関する研究開発テーマの提案競技です。建築・住宅技術に関わる様々な分野での研究開発テーマの提案を募集します。

建築研究開発コンソーシアム（以下、当会）では、設立目的のひとつである『研究開発の共通基盤（プラットフォーム）づくり』を目指して、2003年度から毎年開催しており、今年度は第20回になります。提案されたテーマについて、当会内に研究会※1を組織し、研究・開発活動を実施することを期待しています。研究会活動を通じ、提案テーマの実施・実現だけでなく、得られるより深い人的ネットワークや新たな気づきは、参加企業および参加者の知識・ノウハウの蓄積や人材育成にも繋がると考えています。

※1：「研究会」は、会員から参加メンバーを募り、発足する当会の組織体です。研究会では、例えば提案内容をもとにした要件整理から始めるもの、具体的な課題が明らかなものは関連情報の調査・分析や実験、講師を招いたディスカッション、参加メンバーによる勉強会など、様々な活動を自由に行っています。

研究会の設置提案は「アイデアコンペ」以外にも随時受付しています。研究会には支援費として12万円が当会から支給され、アイデアコンペの優秀提案にはさらに、賞金の一部または全部を支援費に加算することもできます。さらに予算が必要な場合は、当会の研究助成に応募することも可能です。

2. 募集提案内容

研究開発テーマの提案は、建築・住宅技術に関連する内容であれば、分野は問いません。DX（デジタルトランスフォーメーション）を始めとする建設や製造の生産性向上、地球規模のリスク回避を含めた防災・安全・災害対応、また生活や業務の利便性向上・「新しい生活様式」・人間や環境に関わる研究、さらには脱炭素社会の実現・環境問題解決やSDGs達成に貢献する研究や技術開発等を含め、幅広い分野で多数の提案を期待します。

具体的な研究や技術開発のアイデア以外にも、現在の社会課題に対応する政策・制度・社会システムを検討する提案、また我が国の国際競争力を高めるような技術の企画・標準・基準等を検討する提案、さらには将来の夢のような提案も含まれます。

3. 提案応募資格

正会員、準会員、学会会員

※ 会員名簿（企業名・団体名）はHPに掲載しています。

一般の法人、または現職の大学教員の方も、入選後の入会を条件に応募出来ます。

4. 提案募集期間

2022年10月3日（月）～ 2023年1月6日（木）17:00まで

※ 但し、2022年11月25日（金）までに、「提案タイトル」と「代表者名」を、事務局・アイデアコンペ担当にご連絡下さい。

5. 提案図書

- ① 提案用紙：規定書式 A4用紙 2枚
 - ※ ホームページ上の CONSO ニュースの募集案内に規定書式の提案用紙がリンクしています。
- ② 概要書：自由書式 A4用紙 2枚 縦使い・横使いいずれでも可
 - <記載内容>
 - ◇ 提案する研究開発テーマの内容や分野を適切に表わすタイトル
 - ◇ 提案する研究開発テーマの概要・提案ポイント等
 - ※ 概要書には、会社名、氏名等は記載しないで下さい。
 - ※ 概要・提案ポイントは、文章のほか、図、表、写真を必要に応じて加え、分かり易く纏めて下さい。
- ③ 一次審査通過者には、プレゼンテーション用資料（10分程度）の準備をお願いします。
 - ※ 一次審査の結果は、審査後に連絡いたします。
 - ※ 二次審査は、プレゼンテーションが対象となります。書式等については一次審査通過者に連絡します。

6. 提出方法

- ◇ 正会員、準会員は、連絡担当者の方が取り纏めてご提出下さい。
複数会員の連名で出される場合は、代表会員の連絡担当者からご提出下さい。
連絡担当者が分からない場合は事務局へお問合せ下さい。
 - ◇ 学会会員は、会員個人よりご提出下さい。
 - ◇ 提案図書は、メール送信にて電子ファイル（PDF/8MB以下）を送付して下さい。
郵送、FAXでの受付は行いません。
 - ※ 提案図書の返却は致しませんので予めご了承下さい。
- <提出先> idea@conso.jp ※件名を「アイデアコンペ提案」として下さい。

7. 審査委員会、審査方法、評価基準

- <審査委員会>
 - 当会内部において、審査委員会を設置致します。
 - <審査方法>
 - 一次審査：提案図書による書面審査結果通知(予定) [2023年1月27日(金)]
 - 二次審査：一次審査通過者の発表に基づく審査(当日結果公表) [2023年2月17日(金)]
 - <評価基準>
 - 主として下記の項目を審査します。
 - ・ 新規性、実用性、異業種関連度、建築や社会に対するインパクト
- 【留意事項】**
- ・ 一次審査通過者は、二次審査会において上述の資料を用いてプレゼンテーションを行なって頂きます。同日欠席された場合は、失格となりますのでご注意ください。

8. 表彰および賞金等

- 応募提案に対し、原則として下記のとおり入賞作（入選作と佳作）を選定致します。
- ◆ 最優秀賞： 総額20万円（研究会支援費加算・図書カード）
 - ◆ 優秀賞： 総額10万円（研究会支援費加算・図書カード）
 - ◆ 審査員特別賞： 3万円（図書カード）
 - ◆ 佳作： 2万円（図書カード）
 - ◆ 参加賞： 1万円（図書カード）
- ※ 1次審査通過提案が必ず入選、佳作となるとは限りません。
 - ※ 最優秀賞と優秀賞の賞金は、総額を研究会支援費加算と図書カードに配分可能です。（最優秀賞の例：研究会支援費加算10万円＋図書カード10万円）
 - ※ 全ての研究会に研究会支援費12万円が支給されますので、最優秀賞の研究会支援費は最大32万円、優秀賞は最大22万円となります。

9. 提案図書および審査結果の公表

最終審査結果については、二次審査当日、2023年2月17日（金）に、発表及び表彰を予定しています。

入選作と佳作の提案図書は、当会のHP等で公開いたします。

10 知的財産権の扱い等

- ◇ 提案に含まれる知的財産権等は提案者に帰属します。但し、当会は入選作と佳作の提案図書の公表及び出版、当会の諸活動の告知・発表・PRにおいて、提案図書の使用を提案者に承認の上で行うことが出来るものとします。
- ◇ 著作権・特許等の知的財産権に関する必要な措置は提案者の責任において講じて下さい。

<参考>

◆研究会設立プロセス（応募内容をもとに研究会を設立する場合）

① 一次審査（書類審査）・二次審査（プレゼンテーション審査）にて入賞作（入選作と佳作）を決定



② 『研究会計画書』を提出

※ 研究会の設置（研究会の進め方、メンバー募集等）をインキュベーション委員会、事務局がサポートします。（研究会の主査を大学関係者をお願いすることも可能です。）

※ 概要は二次審査の際に事務局からお伝えします。



③ 『研究会計画書』を当会の委員会にて審議・承認



④ 研究会参加者募集（約1ヶ月）



⑤ 研究会スタート

〔活動期間1年（1年ごと翌々年まで延長可）。年6～12回程度開催。〕

⑥ 共同研究開発に移行

◆歴代のアイデアコンペ入賞作（第1回～19回）をHPで公開致しております。

アイデア創出のご参考にして下さい。

HP右欄の“アイデアコンペ受賞作品”

<問合せ先>

建築研究開発コンソーシアム事務局 アイデアコンペ担当

〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12

トリトンスクエアオフィスタワーZ棟4階

TEL：03-6219-7127 e-mail：idea@conso.jp

建築研究開発コンソーシアム

第20回 建築・住宅技術アイデアコンペ

「建築・住宅技術アイデアコンペ」は、建築・住宅技術に関する研究開発テーマの提案競技です。研究開発テーマの提案は、建築・住宅技術に関連する内容であれば、分野は問いません。DX（デジタルトランスフォーメーション）を始めとする建設や製造の生産性向上、地球規模のリスク回避を含めた防災・安全・災害対応、また生活や業務の利便性向上・「新しい生活様式」・人間や環境に関わる研究、さらには脱炭素社会の実現・環境問題解決やSDGs達成に貢献する研究や技術開発等を含め、幅広い分野で多数の提案を期待します。具体的な研究や技術開発のアイデア以外にも、現在の社会課題に対応する政策・制度・社会システムを検討する提案、また我が国の国際競争力を高めるような技術の企画・標準・基準等を検討する提案、さらには将来の夢のような提案も含まれます。

募集期間：	2022年10月3日（月） ～ 2023年1月6日（金）17:00まで
応募資格：	本会正会員、準会員、学会会員
表彰副賞：	最優秀賞：研究会支援費加算・図書カード 総額20万円 優秀賞：研究会支援費加算・図書カード 総額10万円 審査員特別賞：図書カード 3万円 佳作：図書カード 2万円 参加賞：図書カード 1万円

お問合せ： 建築研究開発コンソーシアム事務局
アイデアコンペ担当
〒104-6204東京都中央区晴海1-8-12
トリトンスクエアオフィスタワーZ棟4階
TEL：03-6219-7127
e-mail：idea@conso.jp
<https://www.conso.jp/>

